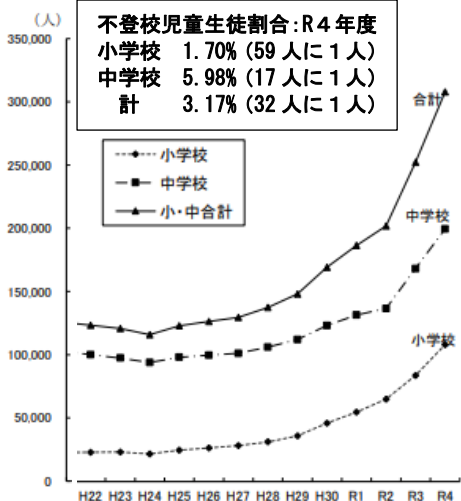


# 未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

## 居場所のある学校づくり

【全国不登校児童・生徒数の推移】  
文部科学省調査（R5.10.4）より



左のグラフは、年間30日以上欠席を不登校として調査した結果です。コロナ禍以来、特に小学校での増加が目立っており、年間90日以上長期欠席児童生徒も全国的に増加傾向にあります。その中で、文部科学省からは、R5年3月にCOCOLOプランが出されました。概略は以下の通りです。

- ①不登校児童生徒全ての学びの場の保障  
不登校特例校の設置、フリースクール等との連携強化、オンラインの活用
- ②「チーム学校」での支援  
SOSをいち早くキャッチし、担任、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が連携して支援
- ③学校をみんなが安心して学べる場所に  
学校風土の見える化、いじめ等の問題行動には毅然として対応、快適で温かみのある学校へ

北小でも、子ども達のことを職員全体でみていこうと取り組んでいます。また、「自己肯定感」を高め、一人ひとりの居場所を作るために、学校行事を大切に、達成感をもって終わられるよう働き掛けをしています。今回の音楽会もまたそのような場です。

朝、起きにくくなったな、どこことなく元気がないな、学校のことをあまり話さなくなったな、勉強がわかりづらくなっているな、ゲームに夢中で寝るのが遅くなっているな、腹痛や頭痛が増えたな等、お子様のちょっとした変化に気づかれましたら、学校にご連絡いただくと嬉しく思います。「ちょっとした」を大切に連絡を取り合いながら、学校とご家庭双方でお子様の成長を支えていきたいと思ひます。

職員室横の投句箱です

## 「おい お茶」新俳句コンクールに挑戦！

＜文部科学大臣賞＞

初日の出 とても小さい 駅で見た（大阪・8歳）



先日のくらしの広場で、「おい お茶」新俳句コンクールを紹介しました。毎年行われているこのコンクール、入賞すれば「おい お茶」のペットボトルに俳句が載ったり、賞金がいただきたりするコンクールです。今年の結果が10月23日に発表されました。応募総数192万句の中で栄えある最高賞に輝いたのは、大阪の8歳の少年で、俳句づくりに励んでいる様子はテレビでも紹介されていました。次の締め切りは来年2月。北っ子も、今、ノリノリで俳句作りに励んでいます。（正直に申しますと、賞金に目がくらんでいるようでもあります。）投句された子ども達の俳句をもとに、全校で句会ができたらしも考えています。さてさて、ペットボトルに北っ子の俳句が載ったら……。今から楽しみです。